

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』

連載第23回

「JR東日本と革マル派」ここがおかしい!

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。(JR連合民主化闘争情報号外より一部抜粋)

< 週刊現代 2006年12月25日発売号 >

公安警察のエキスパートが口を開いた! 亀井静香代議士が激白60分

革マル派を抱えるJR東日本は、企業の社会的責任を果たしていない! 革マル派は、中核派と並ぶ「極左の2大ブランド」。...その極左暴力集団が労働組合、とくにJR東日本という「公共交通機関」の労働組合に浸透し、影響を与えているという現実、わが国の治安上、由々しき問題で、本来、あってはならないことなんですよ。...

松田氏も「国鉄改革」の功労者の一人なんだから、乗客の安全を使命とし、革マル派が組合を支配している状況を変えていく責任は、当然ある。それは松田氏だけでなく、今の経営陣だって、同じですよ。国鉄改革から20年が経とうとしている今日においても、JR東日本では、職場で革マル派が跳梁跋扈し、組合と会社の力関係が逆転した状況が続いている。これは明らかに現経営陣の責任だ。

またたとえ民間会社であっても、社会的責任を果たさなければならない。その意味で、未だに革マル派という極左暴力集団を抱えるJR東日本は企業としての社会的責任を果たしているとは到底いえない。ただ、JR東日本が今後も反社会性の強い組織の影響を受け続け、世間の批判が強まれば、新たな法律に基づいて、それを変えなければならないようになってきますよ。だって国民の税金をつぎ込んで作った会社なんだから。

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 『JR東日本と革マル派』ここがおかしい」と題するこの記事は、その現状と行く末を、最も憂慮している政治家、亀井静香衆議院議員(元「公安捜査のエキスパート」で旧国鉄民営化にもたずさわった元運輸相)が、国鉄改革の“大いなる負の遺産” JR東日本の革マル派問題について60分、一気に語っている。JR東日本経営陣は果たして、この亀井氏の批判、そして“提言”をどう受け止めるのだろうか。

JR東日本経営陣は、 いまこそ革マル派排除に立ち上がれ!